



THERMO COFFEE MAKER

CA-12S
サーモコーヒーメーカー

Brunopasso

このたびは、サーモコーヒーメーカーをお買い上げいただきまして、ありがとうございます。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。また、お読みいただいた後は保証書とともに、大切に保管してください。

付属品をご確認ください

本機には下記の付属品が同梱されています。付属品を見落とさないようにご確認ください。

付属品

パーマネントフィルター、計量スプーン

ご注意

本機は日本国内専用です。交流100V以外のコンセントには接続しないでください。

本書の内容は改善のため、予告なく変更することがあります。

ご不明な点や修理に関するご相談は

お取扱いや、お手入れに関するご不明な点や、修理に関するお問い合わせは下記のカスタマー サポートセンターにご相談ください。

《本製品に関するお問合せ》

デバイススタイル カスタマー サポートセンター

電話 048-664-3477

e-mail:customer.support@devicestyle.co.jp

《修理品の送付先》

デバイススタイル カスタマー サポートセンター

〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町1丁目677

修理品のお問い合わせ電話:048-664-3477

営業時間:平日午前9時～午後6時
(土日、祝日及び長期休暇を除きます。)

主な特徴

おいしさが長持ち

CA-12Sは、サーモタイプ(魔法瓶タイプ)のポットを採用していますので、加熱保温しないため煮詰まりがなく、おいしさを保てます。

ステンレス製で取り扱いやすいサーモポット

ステンレス製の真空二重構造のサーモポットは保温性能が高く、ポットのみを別の場所に持ち運んで、温かいコーヒーをいただけます。

また、落下などによって、破損することが少なく安全に取り扱えます。

オートパワーオフ機能

コーヒーの抽出後自動的に電源の切れるオートパワーオフなので、コーヒーが煮詰まることなくおいしく保てます。また、消し忘れても安心、安全。余分な電力を使うことなく省エネにもなります。

パーマネントフィルター付属

市販のペーパーフィルターで抽出することも、付属のパーマネントフィルターで抽出することもできますので、お好みに合わせた使い方ができます。

お手入れのしやすい広口のサーモポット

サーモポットはふたの部分が広いので、清掃などに便利です。

紅茶や、ハーブティーなども楽しめる

付属のパーマネントフィルターでコーヒー以外にも、紅茶やハーブティーなど工夫次第で使い勝手が広がります。

もくじ

はじめに	2	アイスコーヒーを作るには	10
主な特徴	3	器具のお手入れ	11
もくじ	3	うまく作れないときは	12
安全上のご注意(必ずお読みください)	4	主な仕様	12
使用上のご注意	5	おいしいレギュラーコーヒーを入れるには	13
各部の名前	6	保証とアフターサービス	15
レギュラーコーヒーの入れかた	7	保証書	16
ご使用前に	7		
コーヒーの入れかた	7		

安全上のご注意(必ずお読みください)

製品を安全にご使用いただくため、ご使用前によくお読みください。

製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。

表示の意味



警告

この表示は、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示は、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



⊘記号は、禁止の行為であることをあらわします。

図の中や下に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



●記号は、行為を強制したり指示する内容をあらわします。

図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。



警告



改造禁止

修理改造をしない。

発火や、異常動作をして、破損や、けがの原因となることがあります。



禁止

電源コードを無理に曲げたり加熱したり、ステーブルで止めたり、重いものを乗せたり、そのほか無理のかかることをしない。

ショートや、感電、故障の原因となります。



禁止

幼児の手の届くところに設置しない。

やけど、けがや感電のおそれがあります。



禁止

濡れた手でプラグを抜き差ししない。

感電のおそれがあります。



守る

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む。

差込が不完全だと、感電や、ショート、発火の原因となります。



守る

落下した機器はそのまま使わないで、点検を依頼する。

そのまま使用すると発火や感電の原因となります。



禁止

交流100V以外のコンセントに接続しない。

他の電源に接続すると故障や、発火の原因となります。



プラグを
抜く

煙が出たり、異常なおいがしたり、異音が出るような場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて、修理をご依頼ください。



禁止

電源コード、コンセント部を水につけたり、水をかけたりしない。

ショートや、感電、故障の原因となります。

⚠ 注意



プラグを
抜く

使わないときはプラグをコンセントから抜く。けがや、劣化による感電、漏電による火災などの原因となります。



禁止

抽出中はセットしてある容器を外さない。やけどの原因となります。



守る

電源プラグを抜くときはコードを引っ張らずプラグを持って抜く。

断線や、感電、ショート、発火の原因となります。



禁止

本体を水や洗剤などに浸さない。故障の原因となります。



プラグを
抜く

お手入れは必ずプラグを抜いて、十分に冷えてから行う。

やけどや、感電の原因となります。



禁止

専用の器具以外は使わない。火災や、感電、やけどのおそれがあります。



守る

使用中、または使用直後は注ぎ口、ベースプレートなど高温になる場所をさわらない。

やけどの原因となります。



禁止

本来の目的以外に使わない。故障の原因となります。

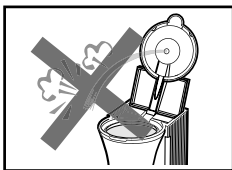


禁止

不安定な場所に置かない。やけど、けがや感電のおそれがあります。

使用上のご注意

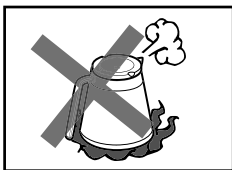
- トップカバーは電源がオンのときには絶対に開けないでください。熱湯や、蒸気が湯口から噴き出してやけどをする恐れがあります。



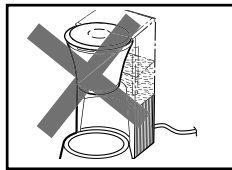
- 使用中や、抽出直後は、皮膚や、コード類が加熱部分に触れないようにご注意ください。



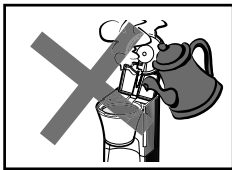
- サーマポットを直接火にかいたり、食器洗浄器や電子レンジに入れないでください。プラスチック部分が変形して、故障する恐れがあります。



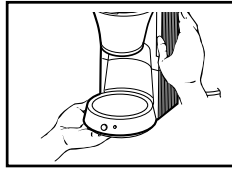
- ウォータータンクに水が残っている状態で放置しないでください。水が痛んだり、凍って故障の原因となります。タンクに水が残っている場合はサーモポットをセットして、スイッチを入れ、水を放出してください。



- ウォータータンクには水道水を入れてください。温水、ミネラルウォーター、アルカリイオン水などは入れないでください。

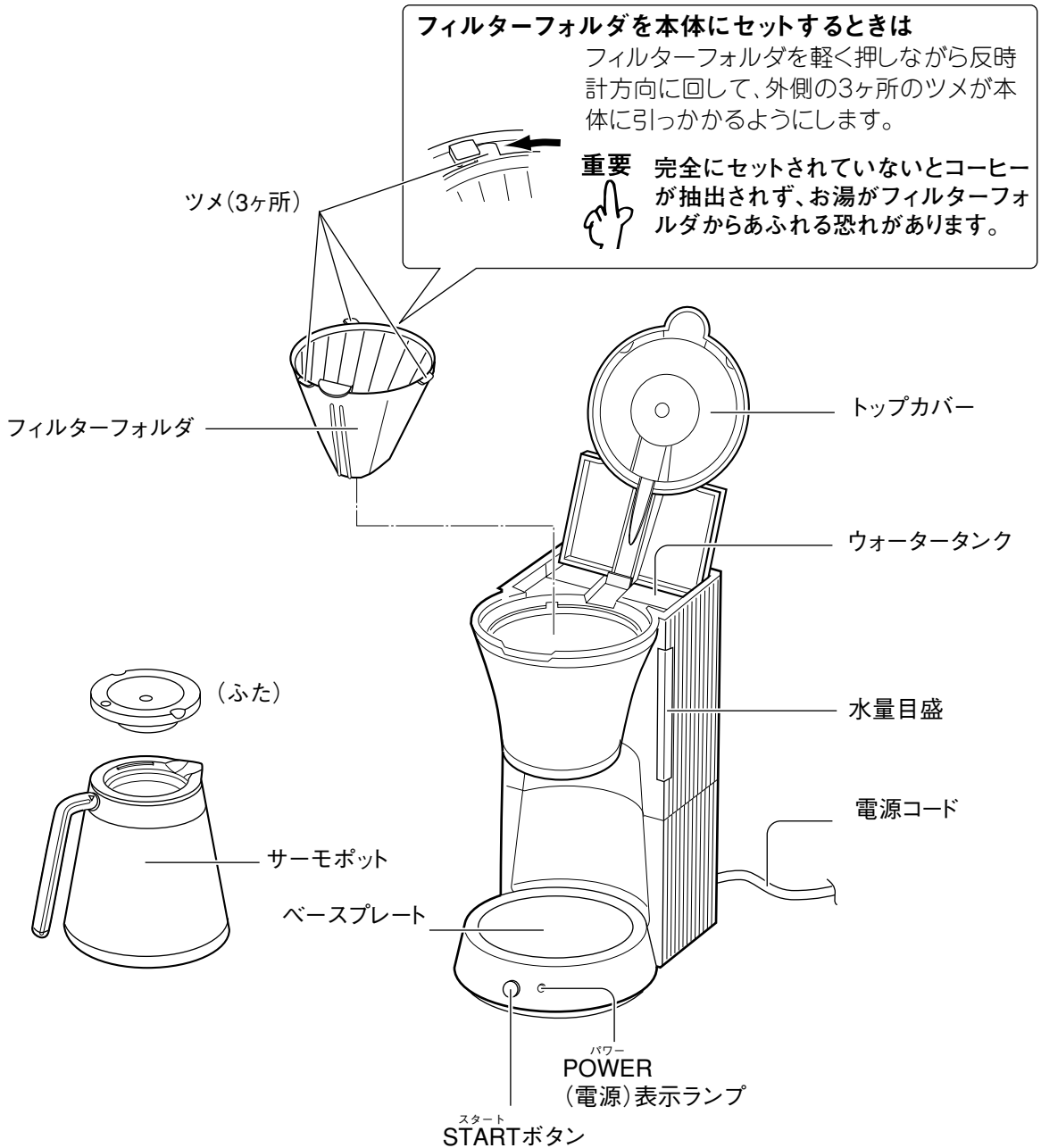


- 持ち運ぶときはウォータータンク側面に手を添えて、本体の底を持って運んでください。

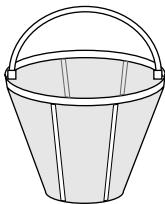


- ビニールや、合成繊維のテーブルクロスや、じゅうたんなど、熱に弱いものの上で、使用しないでください。変色する恐れがあります。

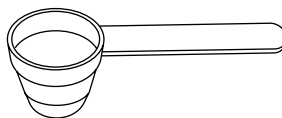
各部の名前



付属品



パーマネントフィルター



計量スプーン

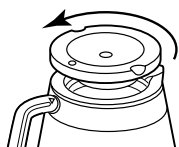
レギュラーコーヒーの入れかた

ご使用の前に

サーモポットの扱いかた

ふたの開けかた

ふたを反時計方向に回し続けると外せます。

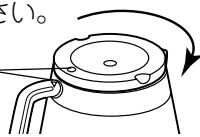


ふたを閉めるには

ふたを時計方向に数回まわして閉めます。

ふたのマークを取っ手のマークに合わせてください。

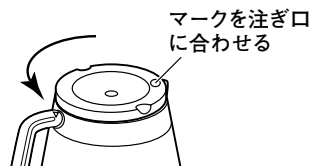
ふたのマークと
取っ手のマーク
を合わせる。



! マーク位置よりもきつく閉めないでください。

コーヒーを注ぐには

ふたを反時計方向に半回転ほど回して、マークを注ぎ口に合わせます。



マークを注ぎ口
に合わせる

ご使用の前に清掃をしましょう

① サーモポット、フィルターフォルダ、パーマネントフィルターを取り外して、お湯などできれいに洗浄してください。



サーモポット



フィルター
フォルダ

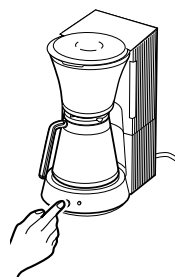


パーマネント
フィルター

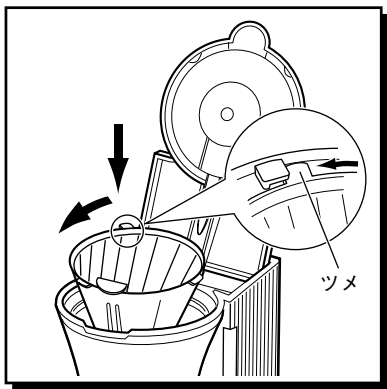
② タンクに水を8分目程度まで入れ、「コーヒーを入れずに」下のコーヒーを入れる手順と同様にして洗浄してください。



10目盛以上水を入れるとポットから水があふれますのでご注意ください。



コーヒーの入れかた



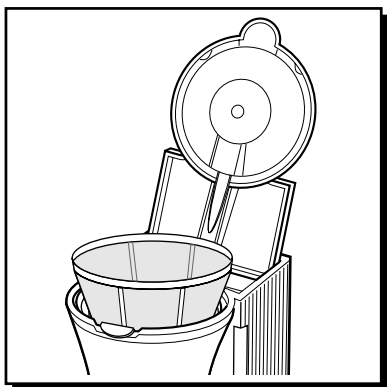
1. トップカバーを開け、フィルターフォルダをセットする。

フィルターフォルダを軽く押しながら反時計方向に回して、外側の3ヶ所のツメが本体に引っかかるようにします。

重要



完全にセットされてないとコーヒーが抽出されなくなります。



2. ペーパーフィルターまたはパーマネントフィルターをフィルターフォルダにセットする。

市販のペーパーフィルターまたは付属のパーマネントフィルターのどちらでも使えます。お好みに合わせてお使いください。

ペーパーフィルターは「1×4」、または「103」サイズが適しています。

重要

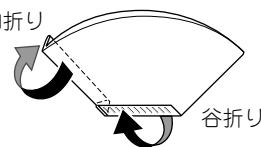


コーヒーを入れる時は、がたつきのない水平な場所に置いてご使用ください。



ペーパーフィルターは図のように折ってセットします。

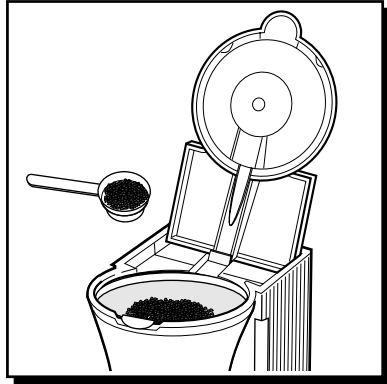
山折り



谷折り

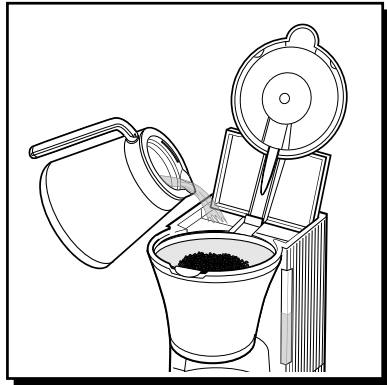
また、セットするときはフィルターフォルダの壁面に沿うように手でなじませてください。

3. 中挽きに挽いたコーヒーをフィルターに入れる。



コーヒーは平らになるようにならして入れ
ます。
標準的な量は付属の計量スプーン一杯
で、コーヒー1カップ分です。
薄目に入れるときは下の段差のところ
が目安になります。
お好みにより粉の量や水を調整して
お召上がりください。

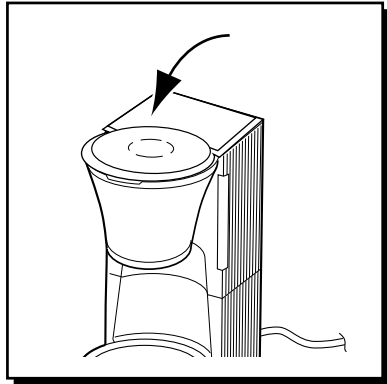
4. ウォータータンクに水を入れる。



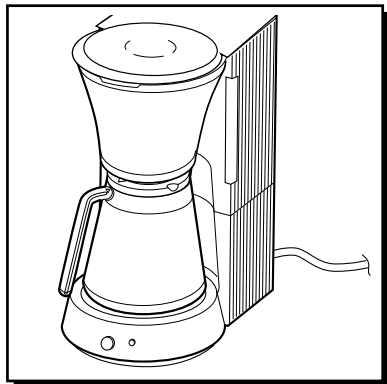
お飲みになるカップ数に応じた水を入
てください。コーヒーカップ12杯分を作
るときは12の目盛まで水を入れます。

重要 タンクに刻まれた「12」の目盛以
上には絶対に水を入れないでくだ
さい。
「12」の目盛を越えると背面の過給
水防止用の穴から水がこぼれます。

5. トップカバーをキチッと閉める。



6. 付属のサーモポットをベースプレートの上にキチッとおさまるように置く。



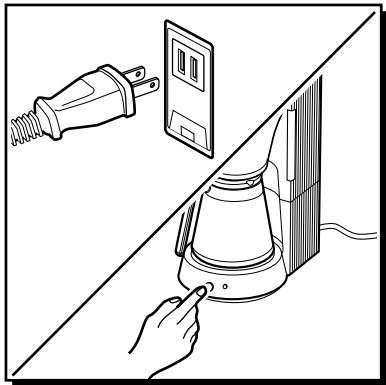
サーモポットのふたがしっかりと閉まっ
ていることを確認してください。

重要 サーモポットを正しくセットしな
いとコーヒーが抽出されず、フィ
ルターフォルダからあふれること
があります。



抽出前にサーモポットに熱湯を入れ内部を暖めておくと、より冷めにくくなります。この場合、本体にセットする前に必ずお湯を完全に捨ててください。
(コーヒーカップを温めるためにご使用になれます。)

レギュラーコーヒーの入れかた(つづき)



7. 電源プラグをコンセントに挿して、
スタート
 START ボタンを押す。

重要 カチッと音がするまでしっかり押します。
 (電源プラグを挿した時点で表示ランプが点灯している場合は、すでにPOWER ONになっていますので、抽出が完了するまでそのまま待ちます。)

パワー
 POWER 表示ランプが点灯し、抽出が開始されます。

抽出が完了すると POWER (電源) 表示ランプが消え、電源が切れます。



抽出中はサーモポットを引き出さないでください。
 フィルターフォルダからコーヒーがあふれて、ベースプレートに飛び散る恐れがあります。

ご使用後は電源プラグを抜いてください。
 電源が切れてもしばらくはベースプレートが熱くなっています。やけどにご注意ください。



8. サーマポットを取り出し、ふたのマークを
 注ぎ口に合わせてカップにコーヒーを注ぐ。

重要 使い終わった後はフィルターフォルダや、パーマネントフィルターをよく水洗いしてください。



熱湯でカップをあらかじめ温めておくと、よりおいしく召し上がれます。

サーモポットはふたを閉めておくともより長く保温できます。
 この場合でも風味を損なわずにおいしくいただくため、早めにお召し上がりがください。

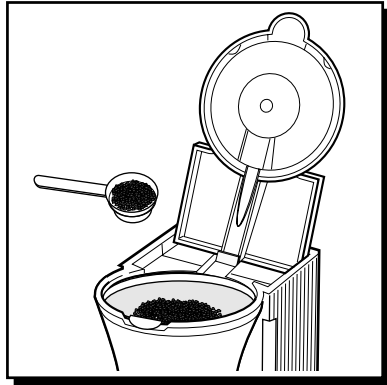


続けてコーヒーを入れるときは熱が冷めるまで、約5分程、間を開けてください。
 抽出直後は内部のヒーターが熱くなっています。その状態で水を注ぐと熱湯や、蒸気が出ることもありやけどの恐れがあります。

アイスコーヒーを作るには

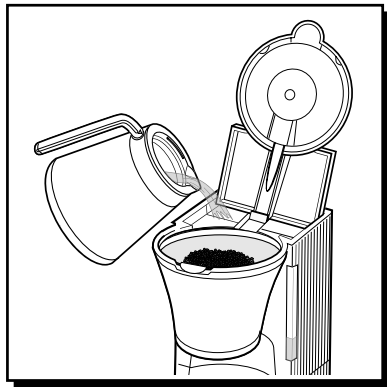


コーヒーは深煎りしたものを
おすすめします。アイスコー
ヒー用として販売されてい
るものもあります。



1. 「コーヒーの入れかた」(7ページ)の手順
1、と 2 を参考にフィルターをセットし、
コーヒー粉を入れる。

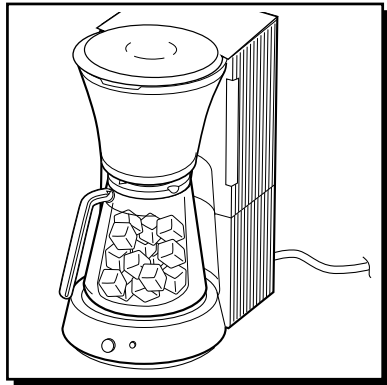
コーヒー粉はレギュラーコーヒーの約1.5
倍を目安にして、フィルターに入れます。



2. ウォータータンクに水を入れる。

水の量はレギュラーコーヒーを入れる場
合の約半分にします。

重要 ウォータータンクが目盛の半分
以上に水を入れしないでください。
サーモポットに氷を入れて冷や
すため、あふれる可能性があり
ます。



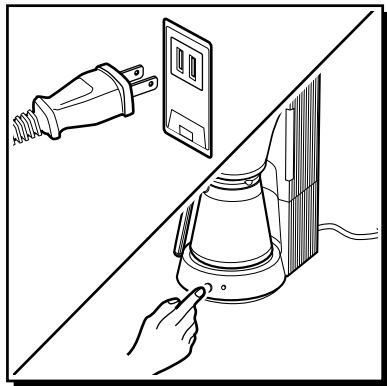
3. サーマポットに氷を8~9分目(約10杯分
作るとき)まで入れ、ベースプレートに
セットする。

サーモポットのふたがしっかりと閉まって
いることを確認してください。

重要 サーマポットを正しくセットしない
と「ストップ&サーブ機能」のスト
ッパーが解除されず、コーヒーが
ポットに注がれません。



できあがったら、サーモポット
を軽く振って1~2分おくと
飲み頃に冷えます。
サーモポットはアイスコー
ヒーの冷たさを長持ちさせ
ることができます。



4. 電源プラグをコンセントに挿して、
スタート
START ボタンを押す。

パワー
POWER 表示ランプが点灯し、抽出が開
始されます。抽出が完了すると START
ボタンが戻り、電源が切れます。

重要 できあがったら、ポットをベース
プレートから外して、別の場所に置
いてください。ベースプレートの熱
で、氷が溶けやすくなります。

器具のお手入れ

重要 本体を水や、他の液体に浸したりしないでください。

また、湿らせた布で拭くときも、シンナーや、アルコールなどの薬品を使用しないでください。



洗剤臭が残っているとコーヒーの風味を損ねます。洗剤はなるべく使わないようにしましょう。



クエン酸は、シヨ糖を原料とした食材で、天然の果実などにも多く含まれるものです。クエン酸や専用洗浄剤は、コーヒー器具売場や、薬局などで購入することができます。

本体の清掃について

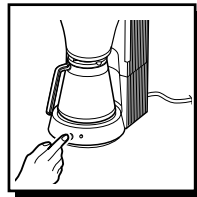
本体の清掃をする前に、電源をオフにし、電源プラグを抜いて、十分に熱を冷ましてください。

清掃をするときは、水で湿らせた布で、コーヒーの粉など、ていねいに拭きとります。

ウォータータンクに水が残っている場合：

サーモポットをセットし、「コーヒー粉を入れずに」電源スイッチを入れると水がポットに注がれ、タンクは空になります。

ウォータータンクの水が無くなると自動的に電源が切れますので、電源コードをコンセントから抜いて置いてください。



サーモポットや、付属品の清掃

サーモポット、フィルターフォルダ、パーマメントフィルターおよび計量スプーンは水洗いできます。ご使用後はよく水洗いします。

汚れがひどく、落ちにくいときは薄めた中性洗剤で汚れを落とした後、流水で洗剤を十分に洗い流してください。

水垢の除去

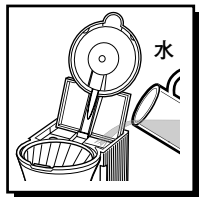
定期的に水垢の除去をする必要があります。

- レギュラーコーヒー抽出中の音が大きくなった。
- コーヒーのできるまでの時間が長くなった。

等の症状が出たときは水垢の除去を行ってください。



1. 280ccのぬるま湯に対し、大さじ2杯分のクエン酸を溶かし、ウォータータンクに注ぎます。サーモポットをベースプレート上にセットして、STARTボタンを押します。(コーヒーは入れずに抽出操作をします。)



2. 5分ほど置いて本体をさました後、もう一度手順1を繰り返した後、最後に水道水で同じように2回ほど繰り返してください。

うまく作れないときは

機器が動作しないなどの障害があるときは、まず下の表の原因を調べてください。それでも不都合なときはデバイススタイル カスタマー サポートセンターに直接ご連絡ください。

電話 **048-664-3477**

症状	原因
電源が入らない。	● 電源コードがコンセントにキチッと差し込まれていない。
コーヒーがフィルターフォルダから漏れ出す。	● フィルターフォルダが正しく装着されていない。(6, 7ページ参照) ● サーマポットがベースプレートに確実にセットされていない。(8ページ参照)
コーヒーが抽出されない。	● サーマポットがベースプレートに確実にセットされていない。(8ページ参照) ● フィルターフォルダが正しく装着されていない。(6, 7ページ参照)
コーヒーが極端に薄い。	● ペーパーフィルターがフィルターフォルダの側面に沿ってキチッとセットされていない。(7ページ参照)
サーモポットを外した後も抽出口からコーヒーが洩れる。	● フィルターフォルダのパッドが痛んでいる。(交換が必要ですシークスカスタマーサポートセンターにご相談ください。) ● コーヒーの量が多すぎて液があふれている。(8ページ参照)
レギュラーコーヒーの沸騰中の音が大きくなった。	● コーヒーメーカーのパイプに水垢がたまっている。ディスケーリングが必要です。(11ページ参照)
レギュラーコーヒーができるまでの時間が長くなった。	● コーヒーメーカーのパイプに水垢がたまっている。ディスケーリングが必要です。(11ページ参照)
コーヒーがぬるい	● コーヒーの飲み頃温度は65℃～80℃位です。本機はおいしく抽出し、飲み頃の温度に仕上がるように設計されています。より熱い温度をお好みの場合は別の容器で温めてお飲みください。

主な仕様

レギュラーコーヒードリップ方式	フィルターペーパー式
保温機能	サーモポット方式
本体寸法	185×345×290 (mm)
本体重量	2.5 kg
定格電圧/周波数	100V 50/60 Hz
消費電力	1000 W
タンク容量	1.2リッター
電源コード長	1 m
付属品	パーマネントフィルター ×1 計量スプーン ×1

本機の仕様は改善のため、予告無く変更することがあります。

おいしいレギュラーコーヒーを入れるには

本機を使って誰でも手軽においしいレギュラーコーヒーを入れることができます。
 コーヒーをよりおいしく楽しむためにここではほんの基本的なことを書いてあります。

水の量とコーヒーの使用量の目安

レギュラーコーヒー

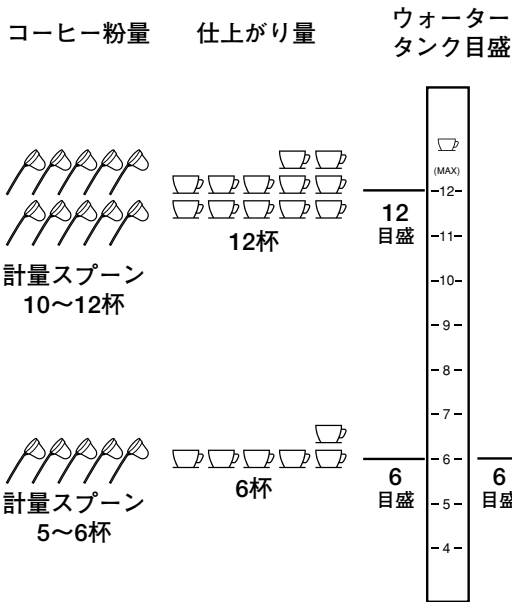
レギュラーコーヒーを入れる場合はカップ(100ml) 12杯に対し、コーヒー計量スプーン 10~12杯、ウォータータンクの目盛は12が目安となります。

アイスコーヒー

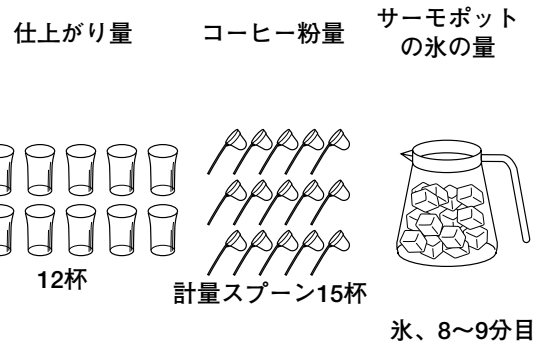
アイスコーヒーを入れる場合はグラス(180ml) 12杯(仕上がりで氷り入り)に対し、コーヒー計量スプーン15杯、ウォータータンクの目盛は6~7目盛、サーモポットに8~9目程度の氷が目安です。

下の図を参照してください。

レギュラーコーヒーを作るとき



アイスコーヒーを作るとき



※アイスコーヒーの仕上がり量はグラスに氷を8分目ほど入れたときの量で、氷の量によって大幅に変わります。

コーヒー豆について

挽きたての新鮮な豆を使うのが基本です。

焙煎

レギュラーコーヒー用には標準煎り、アメリカンコーヒー用には浅煎りを使います。浅煎りのコーヒーは酸味が強く、深くなるほど苦みが強くなります。

アイスコーヒー用には深煎りのコーヒーの方が風味が出て、よく合います。

ミル

レギュラーコーヒー用のコーヒー粉は中挽きが適しています。お店で挽いてもらう場合はペーパーフィルタードリップ用に挽いてもらいましょう。焙煎した豆を購入して、家庭用コーヒーミルで挽けばより新鮮なものが使えます。目安としてはグラニュー糖程度の細かさが良いでしょう。お好みの挽き方を工夫してください。

また、アイスコーヒー用には細かめに挽いたものを使います。

鮮度

必要最小限の量を購入して新鮮な内に使い切るようにしましょう。

ブレンド

コーヒーの楽しみはブレンドしてこそ倍増するといえます。とはいえ、ブレンドのしかたは無限にあり、好みにあったブレンドを見つけることは簡単ではありません。はじめはお店の人と相談したり、本などを参考にして色々なブレンドを試してください、その上でオリジナルブレンドに挑戦してみたいかがでしょうか。

下の表は産地によるおおざっぱな味の傾向をしめします。

酸味のある豆	キリマンジャロ、コロンビア、モカ、ガテマラ、 ハワイコナ 等
苦みのある豆	マンデリン、コロンビア、ガテマラ、ブラジル 等
バランスのとれた中間の豆	ブルーマウンテン、ハイマウンテン、サントス 等

同じ産地名でも地域によって、味が大きく変わる場合もあります。

また、ローストの仕方でも味の傾向が変わります。あくまでも目安とお考えください。

カップを選ぶとき

コーヒーの色や感触を楽しんだり、またコーヒーが冷めることをさけるためにも、内側が白色の陶器や磁器が最適です。その上で1種類ではなくその時々によって使い分けることも良いでしょう。

また、コーヒーを注ぐ前に熱湯でカップを暖めておくとコーヒーが冷めにくくおいしくいただけます。

水について

コーヒーの味や、香りを引き立てるには「軟水」が適しています。幸い日本の水道水は軟水ですのでそのままご使用になれます。

また、カルキは沸騰するときにほとんど飛んでしまいますので、あまり気にしなくても良いでしょう。どうしても、臭みが強く活性炭フィルターなどをお使いの場合は、新鮮なものを使って、ウォータータンクに残さないようご注意ください。

器具は清潔に

コーヒーポットやカップは清潔にしたうえでお使いください。普段はポットを洗うときには中性洗剤を使わずに良く水洗いしてください。

保証とアフターサービス

保証書について

- 保証書はこの取扱説明書についておりますので、必ず「販売店、購入日」等の記入をお確かめになり、保証内容などをよくお読みいただき大切に保管してください。保証期間はご購入日より1年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

- この商品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後5年です。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

- 保証期間中は
保証の規定に従って修理させていただきます。
- 保証期間を過ぎているときは
修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
- ご連絡先は
デバイススタイル カスタマー サポートセンターにご連絡ください。

デバイススタイル カスタマー サポートセンター

電話 048-664-3477

e-mail: customer.support@devicestyle.co.jp

修理品の送付先

デバイススタイル カスタマー サポートセンター

〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町1丁目677

修理品のお問い合わせ電話:048-664-3477

営業時間:平日午前9時～午後6時(土日、祝日及び長期休暇を除きます。)

交換部品について

下記の交換部品を用意しております。お求めは上記 **デバイススタイル カスタマー サポートセンター** に直接ご連絡ください。

部品名	部品番号
サーモポット	CA12-TP
計量スプーン	CA12-SP
フィルターフォルダ	CA12-FH
パーマネントフィルター	CA12-PF

株式会社

デバイススタイル ホールディングス

〒107-0062 東京都港区南青山 5-9-6

S-JET マーク認証済み



サービス受付・修理品の送付先

デバイススタイル

カスタマー サポートセンター

電話：048-664-3477

〒331-0812

埼玉県さいたま市北区宮原町1丁目677

部品番号：CA12-IB-2